

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	552 公園施設維持管理経費	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	04	都市計画費
		目	05	公園費
基本 施策	28 緑化を進め、公園や緑地を整備する	細目	101	公園施設維持管理経費
		細々目	01	公園施設維持管理経費
行革大綱の重点事項番号		4		
担当部課	コード	190700		担当者
	名称	産業建設部	都市計画課	氏名
			松尾 卓哉	連絡先
			43 - 2315	(内線) 263

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	都市公園の利用者	※対象件数
成果(どうする)	公園の樹木の剪定、防除や除草、公園施設の清掃、点検をすることにより、利用者が安全に気持ちよく休憩や散歩等ができる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	上野公園などの都市公園17公園と緑地7箇所維持管理業務(清掃、巡視、樹木剪定・消毒、小修繕等)	
社会情勢 の変化等	適切な維持管理を行うことにより、使用者が快適に利用しているが、施設の老朽化や樹木の成長などにより、今後もさらに維持管理に重点を置く必要がある。また、度重なる遊具の事故が全国的に発生しており、安全性の確保が公園管理者に強く求められているため、老朽化した遊具の撤去や更新を行い、使用者が安全に利用している。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	直営
委託先	文化都市協会、伊賀市シルバー人材センター、民間業者
2 配置人員	1人
3 年間運営費	119,296 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			公園の維持管理業務	ヶ所	目標 21 実績 21	目標 21 実績 21

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				維持管理を行った公園の数	全公園数に対し維持管理を行った公園数の比率	%	目標 100 実績 100

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計 (A)	112,361	112,096	90,077	112,000				
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	112,361	112,096	90,077	112,000				
事業投入人件費 (B)	1.0 人	7,200	1.0 人	7,200	1.0 人	7,200	1.0 人	
フルコスト(A)+(B)	119,561	119,296	97,277	119,200				

事務事業の評価 (Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
効率性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
達成度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効果性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
計画性	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
その他	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
コスト	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	岩倉峽キャンプ場の管理運営を指定管理とし良好に行われている。また、その他公園の維持管理についても良好に行われているため、現状維持とする。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	上野公園などの都市公園17公園と緑地7箇所維持管理業務(清掃、巡視、樹木剪定・消毒、小修繕等)を行った。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	清水 仁敏
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	公園、緑地等の維持管理業務(巡視、清掃、樹木管理、施設修繕等)を適切に行う。
現時点における課題、その他	年々維持管理費の予算確保が難しいため、樹木の生育状況等について、維持管理の範囲を的確に把握し、実施する必要がある。また、予算減少に伴い、維持管理の予防的業務を行うことが困難である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	維持管理予算の減少に伴い、必要な箇所に必要な予算を集中投資し、効率化を図る。